

かしょうびょう
「火傷病」の危険性について

千葉県

中国で「火傷病」の発生が確認されました。中国産花粉の使用による感染を防ぐため、皆様には中国産花粉の使用自粛をお願いしているところです。万が一この病気が発生すると、自園だけでなく、産地の存続に関わる被害となるおそれがあります。

1. 火傷病とはどんな病気なのか？

<感染>

花粉を介して細菌が花（雌しべ）に付着し侵入、降雪などでできた傷からも侵入し発病



花や幼果での発病

<増殖>

細菌が葉、枝、幹へと広がり内部で増殖し、新梢が落葉せず萎れて枯死するなど、様々な部位で「枯れ」症状を引き起こす。（「羊飼いの杖」症状）



<細菌の漏出>

発病した新梢や葉の根本、花、果実及び「かいよう斑」と呼ばれるヒビ割れができた主枝等からは細菌泥が漏れ出て風雨や虫などで周囲に広がる。なお、かいよう斑は、火傷病菌の越冬場所となる



「羊飼いの杖」症状

<枯死>

地上部全体まで発病が拡大した場合には数か月で枯死に至る

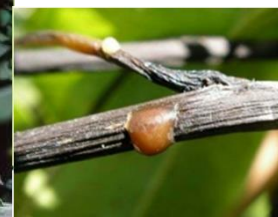


「かいよう斑」症状

<宿主範囲>

バラ科ナシ亜科の多くの植物に感染

ナシだけでなく、ビワ、リンゴ、カリン、サンザシ、シャリンバイ、ナナカマド等



新梢から漏れ出る細菌泥

2. どうして「火傷病」は危険なのか？

① 感染した場合、治療できる薬剤がない

治療効果が期待できる薬剤がなく、予防薬剤も適切な時期に散布しないと効果が低く、他の病気のように防除対策がとれません

② 発病から枯死までの時間が短い

病状が急激に進行するため、収穫できなくなるまでの期間が短く、樹の更新が間に合いません

③ 花粉等を介して園内・産地に急速に広がり 大きな減産、産地の存亡につながる

樹、園、産地内で、極めて急速に被害が拡大します

④ 宿主となる植物種が多く根絶が極めて難しい

火傷病が発生した国・地域で、これまで根絶に成功した事例はありません

このように、産地に甚大な被害をもたらす可能性が高いことから、国による緊急防除の対象となると想定されま

す
<緊急防除となった場合>

発生区域（半径40m、約50a）内の宿主植物の作付け禁止、場合によってはさらに広い範囲での訪花昆虫の移動禁止などが、国により指示されます。

注）実施される防除内容は実際の発生状況に応じて変わります。

3. 私たちが今とれる「火傷病」対応策は？

唯一の手段が「侵入を防ぐこと！」

**出所不明な花粉の
購入・使用**

**輸入ナシ花粉の
譲渡や販売
(フリマを含む)**

**海外から
宿主植物持込
(穂木・苗木等)**

**「火傷病」からナシを守るには予防の徹底しかありません
輸入花粉に代わる受粉作業の取り組みをお願いします**